



安積山

郡山市立日和田小学校

学校便り No.78

令和5年3月10日

文責：校長 伊藤 孝行

「いのちを考える集会」を行いました。

2011年3月11日に発生した「東日本大震災」から12年目を迎えようとしています。

今の子どもたちにとっては生まれる前の出来事ですが、福島県に住む子どもにとっては大切なことです。また、自然災害はいつどこで発生するかわからないため日頃の備えが大切です。それらを踏まえて「いのちを考える集会」では、以下の点について子どもたちにお話しました。

- ① 2011年3月11日（金）14時46分に福島県、宮城県、岩手県などに大きな地震が起こり、その後の津波のためにたくさんの方が亡くなりました。その地震は、東日本大震災と名付けられたということ。
- ② 地震や津波により、約1万6000人の方が亡くなり、原発事故では故郷に帰れない人も大勢いるということ。
- ③ 亡くなった方に黙祷を捧げる意味。
- ④ 日和田小学校は、地震が来ても校舎は安全だということ。
- ⑤ 地震はいつ起こるか分からないので、避難場所や持ち物を家族で話し合っておくこと。

3月13日以降のマスクの着用等について

3月13日以降のマスク着用について、情報が混乱してしまっていたので整理しながら確認したいと思います。

- ① 2月10日 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策本部から「マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本とする」との方針が出された。
- ② 2月13日 文部科学省から「卒業式におけるマスクの取扱いに関する基本的な考え方について」が出された。
 - ・ 卒業式においては、児童生徒及び教職員はマスクを着用せずに出席することを基本とする。ただし、マスク着用を希望する児童生徒にはそれを認める。
 - ・ 保護者・来賓にはマスクの着用を求める。

※ この①厚生労働省及び②文部科学省から出されたマスクの着用についての通知文には、「学校におけるマスク着用の考え方の見直しは4月1日より適用することとし、それまでの間はこれまでの考え方に沿った対応をお願いする」と付け加えられている。

【マスクを外してよい場面】

- 屋内では、他者と2m以上の距離が取れて会話をほとんど行わない場合や図書館のように無言で読書をする時等。
 - 体育の学習や休み時間校庭で遊ぶとき、会話をほとんど行わないで登下校をする時等。
 - 熱中症の危険性がある場合。
- ③ 3月13日 社会全般では「マスクの着用は個人の判断」となり、マスクを外すのも着用するのも個人の判断になります。しかし、前述のように学校においては今まで通りで変わりはありません。
 - ④ 4月1日 学校におけるマスクの着用も個人の判断に委ねられるようになると思います。
詳細については、国や県、市からの通知が入り次第お知らせします。



- ⑤ 4月1日以降でも、給食当番や清掃時、咳やくしゃみ、鼻水が出るときにはマスクの着用を求めますのでご理解ください。
- ⑥ 登校前の体温測定と健康観察につきましては、新型コロナウイルスが5類に移行するまでは続ける予定です。ご協力をお願いします。

保護者の方から、屋外とは言え、一部職員がマスク無しで至近距離で子どもに話しかけていて不安だというご指摘がありました。

厚生労働省や文部科学省の通知に沿った行動がとれるよう注意してまいります。

今後もし不適切な場面がありましたら遠慮なくご指摘をよろしくお願いいたします。